

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・FAX 284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

私達のくらし応援の政治
提案します

**消費税 10%中止 減らない年金
くらしに希望を！ 原発再稼働ストップ！**

1つは、8時間働けば普通に暮らせる社会をつくること。最低賃金を全国一律 1000 円以上に。そして暮らしに必要な額 1500 円をめざします。そのために中小企業支援を大幅に引き上げ、正規雇用が当たり前のルールをつくります。

2つは、お金の心配なく学び、子育てできる社会をつくること。大学や専門学校の授業料をせめて半額に、月 3 万円の給付型奨学金と、認可保育園 30 万人分をつくります。



予算と財源は？

必要な予算は 7.5 兆円。この3つのことをやっていくための財源は、消費税に頼らず、大企業に中小企業並みの法人課税を行い、大株主優遇の税制をただす。米軍への思いやり予算などを廃止すれば十分確保できます。

3つは、暮らしを支える安心の社会保障制度をつくること。全国知事会、市長会、町村会も求める新たな公費負担で国保税を半額にし、年金を自動的に減らす仕組みのマクロ経済スライドを廃止し、減らない年金にします。そして月 6 万 5 千円以下の方全員に年間 6 万円の直接給付で低年金の方の底上げをします。

4つは、運転を開始してから 40 年が過ぎた、東海第二原発の再稼働はきっぱり中止させること。再生可能エネルギーへの転換をはかるために力を合わせます。新規基準に基づく適合性審査はすべて合格したとされましたが、規制庁も原電も東海村も、「絶対安全が保障された訳ではない」と。「安全を保障しないで再稼働を認める」、あってはならないことです。原発は動かさないことが何よりの安全対策です。

7月1日、2019年原水爆禁止東海村平和行進に参加



1日、平和行進の東海村行進があり参加しました。役場正面入り口付近をお借りしての出発式には、役場企画総務部の箭原智浩部長さんが激励のごあいさつに駆けつけてくださいました。雨ふる中での行進となりましたが、皆さん最後まで元気に歩きとおし、原水爆禁止、核兵器廃絶への思いを強くしました。

(大名が行ったあいさつ) お早うございます。平和行進にご参加、大変お疲れさまです。また役場総務部長様のごあいさつありがとうございます。原水爆禁止、核兵器廃絶の粘り強い運動は、日本が唯一の被爆国であることはもちろんですが、今地球上に 15000 発もの核兵器が存在し、世界の人々の平和と安全を脅かしているという現状からも、世界各国が協力して核兵器のない平和で公正な世界を作るために、本当に重要な取り組みです。心から敬意を表します。

こうした中日本は、福島原発事故後も未完成な技術のまま原発の再稼働を一気に進められようとしています。とんでもありません。先月 17 日午前 8 時頃、茨城県北部を震源地とする最大震度 4 の地震が発生しました。震源は何と、北緯 36.5 度、東経 140.6 度で、東海第二原発の真下でした。これまでも真下での地震はあったと聞いていますが、東海第二原発は、技術的にも立地環境からも最悪であることが一層明らかです。再稼働は絶対に許せません。

今日の行進の一步一步、世界の人々の平和と安全を必ず実現させる思いを強めて歩ききたいと思います。